

平成29年度交付
市民企画事業補助金
成果報告書



八王子市

平成30年7月

目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧表	3
4	事業成果報告	
<1>	成果報告書	
(1)	もとはち東ふれあい食堂	5
(2)	精神疾患当事者が畑で元気になるプロジェクト	7
(3)	のうちのマルシェ 2017	9
(4)	難病を元気にする！！（難病カフェ）	11
(5)	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業	13
(6)	マルベリーハートフルフェスタ	15
(7)	八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業	17
(8)	HACHIDORI ～HACHIOJI ROCK DREAM	19
(9)	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」	21
(10)	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！	23
<2>	収支決算書	
(1)	もとはち東ふれあい食堂	26
(2)	精神疾患当事者が畑で元気になるプロジェクト	27
(3)	のうちのマルシェ 2017	28
(4)	難病を元気にする！！（難病カフェ）	29
(5)	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業	30
(6)	マルベリーハートフルフェスタ	31
(7)	八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業	32
(8)	HACHIDORI ～HACHIOJI ROCK DREAM	33
(9)	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」	34
(10)	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！	35
5	成果報告会アンケート結果	36
6	交付団体連絡先一覧	40

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとしします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとしします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内または前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は、①としします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局（協働推進課）による応募書類の確認、市の担当課が面接により応募事業の内容確認・評価を行う予備評価及び外部委員で構成される「市民企画事業補助金申請事業評価会議」による評価を基に行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション（B 事業実施部門のみ）」や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当課による 確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
評価会議 による評価	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

※ この概要は平成29年度交付対象事業についてのものであり、今後変更される可能性があります。詳細は市のホームページをご覧ください。

<市民企画事業補助金のホームページアドレス>

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>

2 事業成果報告等の経過

<1> 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成29年4月8日（土） 13:30～16:15
- 場 所 生涯学習センター（クリエイトホール）11階 視聴覚室
- 参加団体 8団体
- 審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、評価会議委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



<2> 成果報告会

- 日 時 平成30年6月23日（土） 13:30～16:10
- 場 所 生涯学習センター（クリエイトホール）11階 視聴覚室
- 報告団体 10団体
- 平成29年度に補助金を受け実施した事業について、評価会議委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 交付事業一覧表

(単位 円)

区分	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動 支 援 部 門	新	もとはち東ふれあい食堂	231,379	100,000
	新	精神疾患当事者が畑で元気になるプロジェクト	88,349	88,000
	新	のうちのマルシェ2017	246,234	100,000
	新	難病を元気にする!! (難病カフェ)	116,369	100,000
	②	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業	154,531	100,000
	②	マルベリーハートフルフェスタ	258,256	100,000
小計			1,095,118	588,000
事 業 実 施 部 門	新	八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業	2,052,412	1,000,000
	②	HACHIDORI ~HACHIOJI ROCK DREAM	2,438,229	800,000
	②	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」	2,100,235	700,000
	③	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る!	1,419,917	315,000
	小計			8,010,793
総計			9,105,911	3,403,000

4 事業成果報告

<1> 成果報告書

平成29年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	もとはち東ふれあい食堂		
団体名	もとはち東ふれあい食堂プロジェクト		
事業費	231,379	円	補助金額 100,000 円

事業の目的・内容	目的	集まり易い学校での開催を主とし、子どもの食困や孤食の問題に 対しては、地域のふれあいや、様々な年齢の人々のニーズに 応じて、子どもが居る場所と築いていく。
	内容	八王子市立元八王子東小学校を主な開催場所として、子ども 達、近隣、地域の方々に、月に1回夕食提供の食堂を開催する。 参加費は大人300円、子ども(高校生以下)無料とする。

事業の活動実績	4/21(金) 17:00~20:00 西蓮寺にて開催	参加数	126人
	5/12(金) 17:00~19:00 元八王子東小学校にて開催 (学校からの申し込みにより、以後終了を19時に変更)	"	176人
	6/2(金) 17:00~19:00 元八王子東小学校にて開催	参加数	160人
	7/7(金) 17:00~19:00	"	" 183人
	8/4(金) 8:00~9:00 夏休み明け西蓮寺にて朝食提供	参加数	34人
	9/1(金) 17:00~19:00 元八王子東小学校にて開催	"	" 116人
	10/6(金) 17:00~19:00	"	" 126人
	12/1(金) 17:00~19:00	"	" 153人
	1/12(金) 17:00~19:00	"	" 107人
	2/2(金) 17:00~19:00	"	" 83人
3/2(金) 17:00~19:00	"	" 125人	



事業の成果・効果	<p>会場と併せている。元は多摩小学校の生徒及び保護者ばかりではなく、近隣の小、中から参加者があり、学区を越えた参加者も見られた。参加者も毎回100～150人以上と、大変多く、学校という安心、安全なイメージが、ハードルの低さにつながっているのだと思う。</p> <p>学校近くにある株式会社「みつみ」様からは、車での開催はらびと毎回、お豆腐や厚揚げなどを大量に寄付していただき、地域の方からはお野菜の提供や、調理、配食のお手伝いもしていただきました。回を重ねるたびに、お手伝いも野菜提供も増えていきました。地域に少しずつ、認められ、受け入れられ始めてきたことを実感することができました。</p> <p>見学に来られる方も多く、同じように学校開催をしてほしい方が増えてきてもらえるのがと願っています。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>食材と紙皿、紙コップ、はし、衛生用品など、多品目及び購入品を、分けて買う事ができる。複数人での買い出しのため、食堂当日に使う物はすべて消耗品となりました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>他食堂を参考に、参加人数も想定していたが、実際には学校で申し込みを取ったため参加人数が大幅に増加して、とても盛況に開催できた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>学校の使用許可さえ安定的に保障されるのであれば、地域に根ざした近隣企業(株式会社みつみ様)の食品提供や、近隣住民からの野菜提供など、地域が一体となり、子どもを中心にさまざまな場が築いていく道筋は確立している。</p>
---------	---

平成29年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	精神疾患当事者が畑で元気になるプロジェクト		
団体名	特定非営利活動法人ルーツ・ユアセルフ		
事業費	88,349円	補助金額	88,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>八王子市では全国的に見ても精神疾患で苦しんでいる人が多い。自立を目指して医療機関で治療をしてもなかなか社会復帰に至らないのが現状である。当事者による畑作業や交流会、高尾山登山等を体験して頂くことで自ら社会で生きていく力を身につけ、社会に出られる人を増やすことを目的とする。</p>
	<p>内容</p> <p><u>八王子市内での農作業</u>・・精神疾患の当事者が農園で野菜を中心としたコミュニケーションをとりながら農作業をすることで社会に出ることを目指す活動。 <u>当事者と家族を含む交流会</u>・・当事者同士で情報を交換できると共に畑の活動に繋げる。 <u>高尾山登山イベント</u>・・体力づくりや地域の方との交流を目的としたハイキングイベント。</p>

事業の活動実績	<p>●日々の活動</p> <p>毎週、月曜日～金曜日の午前中に市内の畑にて農作業を実施した。 定期的に作業所の利用者の方や見学者の方に来園して頂き共に作業をした。 <u>参加人数 定期的に通うメンバー4名を除き週4～5名 体験者数の合計30名</u></p>																	
	<p>●交流会</p> <p>大和田市民センターにて畑から生産したものを利用して、定期的に交流会を以下のように実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>7月29日</td> <td>「自分らしく生きてみよう～夏野菜試食交流会～」</td> <td><u>参加人数 10名</u></td> </tr> <tr> <td>9月30日</td> <td>「きっかけになる～秋野菜試食交流会～」</td> <td><u>参加人数 12名</u></td> </tr> <tr> <td>12月16日</td> <td>「きっかけになる～藁で編むお正月飾り交流会～」</td> <td><u>参加人数 14名</u></td> </tr> <tr> <td>3月25日</td> <td>「きっかけになる～柿渋塗り交流会～」</td> <td><u>参加人数 20名</u></td> </tr> </table> <p>●高尾山登山</p> <p>比較的気軽に参加できる登山イベントとして以下のように実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>10月21日</td> <td>「野菜即売会登山」</td> <td><u>参加人数 4名</u></td> </tr> <tr> <td>2月22日</td> <td>「新年初詣登山」</td> <td><u>参加人数 5名</u></td> </tr> </table>	7月29日	「自分らしく生きてみよう～夏野菜試食交流会～」	<u>参加人数 10名</u>	9月30日	「きっかけになる～秋野菜試食交流会～」	<u>参加人数 12名</u>	12月16日	「きっかけになる～藁で編むお正月飾り交流会～」	<u>参加人数 14名</u>	3月25日	「きっかけになる～柿渋塗り交流会～」	<u>参加人数 20名</u>	10月21日	「野菜即売会登山」	<u>参加人数 4名</u>	2月22日	「新年初詣登山」
7月29日	「自分らしく生きてみよう～夏野菜試食交流会～」	<u>参加人数 10名</u>																
9月30日	「きっかけになる～秋野菜試食交流会～」	<u>参加人数 12名</u>																
12月16日	「きっかけになる～藁で編むお正月飾り交流会～」	<u>参加人数 14名</u>																
3月25日	「きっかけになる～柿渋塗り交流会～」	<u>参加人数 20名</u>																
10月21日	「野菜即売会登山」	<u>参加人数 4名</u>																
2月22日	「新年初詣登山」	<u>参加人数 5名</u>																



事業の成果・効果	<p>●体験者の感想</p> <p>「半年間大学に通えておらず、誰に相談していいのかまたどうしたらいいのか悩んでいた。体験農園や交流会を通していろいろと感ずることがあり、来年度から大学に復学することを決めた。いいきっかけになった。」</p> <p>「普段は自分から外に出ようとしない利用者の方が勧めたわけでもないのに自らの意思で参加していた。非常に楽しかったようで次はいつあるのかと聞かれた。」</p> <p>「医療、福祉の現場からみても他との違いや魅力がとてもありいい活動だと思う。」</p> <p>●活動の広がり</p> <p>実際に精神疾患で悩んでいる人やその家族に情報を届けることは難しく課題である。今回の事業ではまず地域の精神保健福祉士や福祉ボランティアの方と繋がりをつくることに注力した。まず支援者の方に農園や交流会を体験して頂くことで活動を理解して頂き、そこから当事者の方に紹介してもらうことで情報がより広まるようになった。そのなかで北原国際病院とも連携することができ、12月10日のフェスティバルにて野菜の販売をさせて頂いた。患者さんも紹介して頂いている。</p> <p>また、東京都外（岩手県、長野県）からも見学の依頼があり農園を体験して頂いた。このことから活動の広がりを実感することが出来た。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ) 天候不良などにより予定が前後した。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) ●営農計画を変更したことにより品種が変更となり内訳が増減した。 ●当日の準備のためにボランティアスタッフが多く参加して頂いたおかげで交通費を削減することが出来た。 ●当初は無料の会場を使用する予定だったが変更となり、会場が有料になったことで会場使用料が発生した。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今年度の事業の実施により新しい繋がりが生まれ、様々な人に畑を中心としたルーツの活動を体験して頂くことができた。また交流会は会を追うごとに新規の方、リピーターの方が共に増えていき場所としての力が強くなっていることを実感できた。今後は交流会を増やすとともに定期的開催することで機会を増やしていきたい。</p> <p>これからも安定して活動を続けていくためには野菜などを売って収入を増やしていかななくてはならない。来年度は八王子駅南口のマルシェ等にも出品することを計画している。</p>
---------	---

様式9 (1枚目)

平成29年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	のうちのマルシェ2017		
団体名	のうちのマルシェ実行委員会		
事業費	246,234円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>堀之内周辺はニュータウン地域であり、他の地域に比べて市外から転入してきた新住民が多い。新住民と古くから住む住民が交流する機会が乏しく、地域でのつながりが他の地域に比べ希薄であると感じている。また、当地域においても少子高齢化が進んでおり、地域でのつながりや支え合いの必要性は高まっているとも感じている。これらのことを踏まえて、既存のイベントでは困難であった「新しい」コミュニティづくりに資する何らかの活動が必要だと考え、この企画を発案した。</p> <p>この取り組みを通じて、新旧住民間や、店舗間、店員と住民などに新たなつながりが生まれ、地域でのコミュニティが醸成されるとともに、ひいてはこの地域に住み続けていきたいと思う「郷土愛」を深めていくことを目的にこの事業を実施した。</p>
	<p>内容</p> <p>別所ふれあい公園を会場とし、堀之内周辺地域のにぎわいと、地域住民と店舗経営者間の交流の機会を創出するイベント「のうちのマルシェ2017」を実施した。また、堀之内周辺を散策する際に役立つマップを作成し、協力してくれる店舗やイベント当日に来場者に配付した。</p>

事業の活動実績	<p>【のうちのマルシェ2017】</p> <p>日時：平成29年5月27日（土）10:00～16:00 会場：八王子市 別所ふれあい公園</p> <p>概要：公募により選定した地域の店舗や作家による出店とステージパフォーマンスを実施 事前の告知活動として、各種媒体へのリリース、ポスター掲示、ホームページおよびFacebookページでの出店者・出演者紹介の他、独自に制作した「のうちのまち歩きマップ」や「のうちのマルシェフラッグ」の協力店舗での掲示・配布を行った。今後の継続を見据えたファンづくりの取り組みとして、オリジナルグッズの販売やロゴマークの浸透を図った。</p> <p>(参加者の声)</p> <p>「知っていたけど行ったことのないお店を利用することができた」 「お客様や他の出店者と交流を持つことができた」 など</p> <p>【のうちのマルシェ2017終了後の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebookページにおける地域情報の発信（計7回） ・会報「チームのうちの通信」の発行（10月1日・2,500部） ・まち歩きイベントの開催（10月18日開催・参加者3名）

のうちのマルシェ2017の様子（左：まち歩きマップ、フラッグの掲示 右：会場風景）



事業の成果・効果	<p>【のうちのマルシェ2017】</p> <p>当日は33ブースの出店、11組のパフォーマンス出演が実現し、約1300人の一般客が来場した。運営においては、延べ10名のボランティアスタッフによる開催支援および18団体（個人含む）からの協賛を得ることができた。</p> <p>出店者や出演者同士の交流が生まれ、のうちのマルシェをきっかけとした他のイベントへの出店や新たなつながりを生み出すことができた。</p> <p>また、町内会との情報連携を図り、同日別会場で開催された町内会主催の写真展を案内することで、会場外への人の流れをつくることができた。</p> <p>【まとめ】</p> <p>「のうちのマルシェフラッグ」等を用いた告知の成果として、来場者数が昨年を100人上回るなどイベントの認知を広げることができた。</p> <p>参加者同士の交流や町内会との連携など、のうちのマルシェをきっかけとした波及効果を及ぼすことができた。</p> <p>一方で運営面の人手不足は否めず、準備段階や当日の協力者は引続き募集していきたい。</p> <p>また、ノベルティ販売やまち歩きイベント動員は目標を達成できず、今後の課題となった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 ・オリジナルフラッグ制作費が予算を上回り、調整のためノベルティ制作数を見直した ・協賛団体1件あたりの協賛金が増え、収入額が想定を上回った
	その他、評価すべき点等	・のうちのマルシェをきっかけに、ヤマザキ学園大学絆祭での「まちすき」や「いっぶくdeマルシェ」等、新たな地域イベントが開催された。 また、参加者同士の交流が生まれたことで、出店者が他のイベントに参加するなどの動きがみられた。 ・運営面ではボランティアや地域の協力を得ることで、スムーズな搬入搬出や近隣への配慮を行うことができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>実行委員やボランティアスタッフを徐々に増やし、「のうちのマルシェ」や「のうちのエリア」のファンを増やすことで自立した活動を目指す。</p> <p>具体的には、町内会活動への参画や地域住民や出店者への丁寧な呼びかけを行うことで、「のうちのマルシェ」の継続につなげる。あわせて、「のうちのマルシェ」開催日以外の取り組みとして、Facebookページを通じた情報発信や、まち歩きイベント等を行うことで、ファンを増やし、より魅力的なマルシェの開催につなげる。</p>
---------	--

平成29年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	難病を元気にする！！(難病カフェ)		
団体名	特定非営利活動法人 難病ネットワーク		
事業費	116,369円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的： 難病患者、その家族だけでなく、難病患者を取り巻く全ての人に参加していただくことで、当事者だけの問題ではなく地域で支える意識が芽生える。希少難病であればある程情報は少なく、難病患者は、病気や生活、就学や就労など不安を感じて生活しています。「難病カフェ」に参加することで、仲間がいること、一人では無いことを感じてもらい、楽しく元気に、地域で安心して自立した生活を送る手助けができる。</p>
	<p>内容： 八王子市の難病患者やその家族、難病患者を取り巻く、医療関係者、地域住民、企業、行政などすべての方を対象とした、「参加型 難病カフェ」を八王子市市内で年5回開催した。難病カフェは、情報の共有を図り、相互に“つながる”場とします。難病は、医療と結びつきながら生活をしていかなければなりません。受け身ではなく難病患者自ら勉強し、元気に自立した生活を遅れるように、5回のうち3回は講師をお招きし、難病について勉強します。</p>

事業の活動実績	<p>2017年(平成29)8月26日 八王子第1回(通算第5回)難病カフェ ラ・フェルマータ 八王子市市民企画事業補助金交付事業での第1回目のラ・フェルマータ</p>
	<p>2017年(平成29)9月23日 八王子第2回(通算6回目)難病カフェ ラ・フェルマータ 八王子市市民企画事業補助金交付事業での第2回目のラ・フェルマータ 講師(浦登記さん)を招いての講演</p>
	<p>2017年(平成29)11月11日 八王子第3回(通算7回目)難病カフェ ラ・フェルマータ 八王子市市民企画事業補助金交付事業での第3回目のラ・フェルマータ 講師(本間りえさん)を招いての講演</p>
	<p>2017年(平成29)12月23日 八王子第4回(通算9回目)難病カフェ ラ・フェルマータ 八王子市市民企画事業補助金交付事業での第4回目のラ・フェルマータ 講師(星川安之さん)を招いての講演</p>
	<p>2018年(平成30)1月28日 八王子第5回(通算11回目)難病カフェ ラ・フェルマータ 八王子市市民企画事業補助金交付事業での第5回目のラ・フェルマータ</p>



事業の成果・効果	<p>効果 平成27年1月に難病法が施行され、更に八王子市は中核都市になりましたが、難病の実態が社会に周知されていないのが実状です。そして、当事者や家族は難病に関する情報もなかなか得られず、何に困っているのか、どのような要望があるのか把握できていません。難病カフェを行い、みなさんと話をする中で、どんな問題があるのか把握を行います。「難病に関する勉強」を行うことで、病気を受け入れ、患者自らが病気などの知識を得ることにより、より良い環境を作る。</p> <p>成果 この事業を行った事により、難病患者・家族の社会的、経済的、身体的状況を垣間見ることが出来た。特に印象に残ったのは、通院に関する考え方で、難病の方は病院に診察を受けるために体調を整えて行きます。(一般の人は、体調が悪いから病院に行く。)普段から体調が優れない難病の方々は、このイベントに出席するのも体調を整えてから出席していました。この事に気づいた我々スタッフは、なるべく講演内容をビデオ化し、将来配信できるように計画を進行中です。 また、私達の行っているラ・フェルマータが東京都福祉保健局の耳にも入り、当会の代表である恒川は、東京都難病対策地域協議会委員、平成30年度東京都福祉保健基礎調査検討会委員に任命されました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 当初、6回を計画していたが、予算の関係で5回開催になってしまった。
	その他、評価すべき点等	ラ・フェルマータを通じて患者・家族、関係者の難病に関する問題点や知識(病気、生活、就労、就学 etc.)の共有化が出来てきた。来季はこの問題点の一つずつ解決できるような糸口を皆で模索してゆきたい。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>本事業の途中で、難病患者はラ・フェルマータに参加希望でもその日の体調に左右され参加できなくなる方が少なくないと気付かされました。そのため、事業途中から講師を招いた講義は、講義をビデオ化し当日参加できなかった方、遠方で参加できない会員のためにビデオ配信システムの構築を考えています。現在、CISCO System G.K.(日本支社)の協力で低料金で利用できるビデオ配信システムを構築中。将来はこのシステムに少額課金システムをリンクさせ、このサーバーの維持費にあてる予定。維持費がコンスタントに集まれば、最大250人までのテレビ会議も可能となるため遠方の会員も含めてラ・フェルマータに参加可能。当日参加不可能な会員にも講演内容を配信できるようになります。</p> <p>また、アスクレップ社の協力で患者支援スマホアプリ(eCOQOLO)のフィールドテストに漕ぎつけました。このようにITの活用となると一層の個人情報保護に気を配らなければいけません。</p>
---------	--

平成 29 年度 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業		
団体名	特定非営利活動法人フードバンク八王子えがお (報告書文中、単に“えがお”と記す)		
事業費	154,531円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>子どもやひとり親世帯の貧困は、八王子の私たちの周辺地域にも普通に存在しています。食に困った状況に至ったとき、地域で支えあい、いたわりあえる地域社会をつくっていくことは重要です。そうした地域づくりに結びつくフードバンク事業を、昨年引き続き進めていくことを目的とし、その幅を一層広めてきた一年でした。</p>
	<p>上の目的を追求するために補助金を有効に使わせていただきました。つまり、フードドライブ（食品寄贈呼び掛け活動）の広報、呼びかけ、寄贈された食品をもとにしたフードバンク「えがお」活動の紹介、食に困った時の支援要請の方法の伝達等を含めた広報紙「えがお通信」の定期発行と配布、リーフレットの作成と配布など、この補助金のもととなって、「えがお」活動を前進させる基礎となりました。</p>

事業の活動実績	<p>平成 29 年 3 月 31 日特定非営利活動法人（以下 NPO 法人と記す）フードバンク八王子えがおとして都より認証されました。したがって、平成 29 年度事業は、まるまる NPO 法人としての活動として行われたこととなります。また、念願の事務所兼食品置き場を狭いながらも持つことができ、ホームページの開設等もあって、活動実績も飛躍的に前進しました。</p>
	<p>事業活動は、29 年度本事業実施計画申請書にある「事業の内容」①から⑧までを活動実践として貫いたといえます。むしろ⑧の食品企業や商店からの協力として、いくつかの食品企業協力に加え、これまでの店舗を有しているコープ施設を活用してのフードドライブ実施展開に加えて、宅配式生協での協力や、大型スーパーの店頭陳列期限間近商品の提供協力の呼びかけ等具体的かつ幅広く広がってきています。寄せられた食品は市の生活自立支援課の窓口や【えがお】から月 1 回の定期配達でも活用されています。八王子つばめ塾の教室への冷凍保存パンの週 1 回の定期便も休むことなく続けられ、届けられたパンの数は年間 6500 個を超えました。</p>

わたしたちにもできる 命を支える支援 フードドライブ

「食で支えよう ひと 地域 未来」

ご家庭にある食品をおすそわけしてください

フードドライブ 開催!

日時：3月4日(日) 午前10時～午後3時

場所：台町市民センター 2階 和室1



事業の成果・効果	<p>ひとり親家庭の相対的貧困率が50%を超え、生活保護制度の30年10月からの削減、年金の引き下げなど高齢者世帯をもあわせて、食に困る状態にある市民への民間の支えあいの活動は、国や自治体の真剣な努力に〔加えてますます大切な活動と思います。それに対応できる力を蓄えるため長いスパンで取り組む必要があります。〕</p> <p>「えがお」の実践は、その僅かな一歩に過ぎません。</p> <p>着実に協働の輪を大きくして、“食に困る人々”を思いやるより多くの市民を結集することが市を変えて行く道だと信じて頑張っていきたいと思えます。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた <input type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた <input type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ <input type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 事業はほぼ予定通りできたが、会議ができる専用事務所の設置、無料駐車場の確保、原稿の入稿期日を早めること等で、経費的にかなり節約ができたことによって予算執行額に変動があった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>任意団体として発足して丸2年、よくここまでできたと自画自賛しています。本補助金の果たした役割は大きいと感謝しています。有り難うございました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>引き続き本補助金の申請をしたいと考えていたが、収益を上げる場を持たない「えがお」にとって50%の自主財源の確保という条件は、実際問題として活用困難でした。</p> <p>しかし、市民の中で日々の暮らしに困難をきたし、食に窮する方々へのフードバンク事業の必要性は増しています。「えがお」は本補助金は利用できなくとも、これから先も、市のみなさんや多くのみなさんと力をあわせて、支え合いといたわりあいに富んだ八王子になるよう一歩一歩歩んで行きたいと思っています。</p> <p>これからもどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>有り難うございました。</p>
---------	---

平成 29 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	マルベリーハートフルフェスタ		
団体名	マルベリー東京パイロットクラブ		
事業費	258,256円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的 障害者の方達に、日頃、所属する団体で練習しているダンス、楽器等の成果を発表する場を提供するとともに、ケアをしている家族・作業所の職員も参加、或いは観賞する場を設けることで、障害者・関係者の喜び・新たな絆を創出したい。また、障害者であるプロの演奏家と同じステージに立つことで、障害者が自信をもって社会参加できることにつながる。障害者と健常者が一体となった企画運営を実施することで、新しい支援の在り方を創出する。</p>
	<p>内容 障害者とプロアーティストの共演による音楽イベント *挨拶 *来賓挨拶 *Love Max (ダンス) *藍の会 (歌) *ふーぷ (フラダンス) *はっぴーはうす (歌) *八王子生活館 (ダンス他) *三鷹むつみ連 (阿波踊り) *第三高尾青年の家 (ピアノ) *八王子福祉園 (ダンス他) *レストランあさかわ (ハンドベル) *ゲスト 式町水晶 ヴァイオリン演奏 (4曲)</p>

事業の活動実績	<p>○実施日：平成29年6月10日(土) 午後1時から午後3時45分 ○場所：八王子生涯学習センター(クリエイトホール イベントホール) ○出演者数：108名 来場者：163名 ○事前活動 ・平成29年4/11…出場団体9団体と打ち合わせ(18名) 台町市民センター 4/20…フェスタ招待状持参 市長・社会福祉協議会・福祉部・市民活動推進部・市民活動協議会・NPO法人八王子市レクリエーション協会 5月上旬…プログラム掲載の広告・協賛を募集・各市民センターへチラシ・ポスター配布・出場団体への記念品として、缶バッジを作成(福祉作業所に依頼) 6/6…プログラム完成</p>
	<p>○当日 ・午前中にリハーサル ・午後1時 開演 八王子市市長より祝電・社会福祉協議会副会長 赤澤将氏より祝辞を頂く</p>



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>・入場者数：163名 ・出場団体 9団体 (昨年より増)・出場者：108名 (障害者 82名 職員 15名 家族 11名) ・フェスタ第二部として、脳性麻痺であるプロヴァイオリニスト 式町水晶氏が出演【来場者アンケートより】</p> <p>・それぞれの特性・個性を生かし、生き生きと楽しく演奏している姿に感動しました。</p> <p>・昨年よりレベルアップしていて、この企画を続けて欲しい。第3回を楽しみにしています。</p> <p>・皆さんが日頃努力している姿に感動しました。スタッフの皆さんの努力がなければ、開催出来なかったと思うと、感謝です。</p> <p>・ボランティアに関わっているメンバーの方々が、いつもは見られない表情や演技をされていて、心を打たれました。</p> <p>・パイロットクラブの皆さんのおかげで、市内の様々な団体が一堂に会える機会を頂き感謝しています。音楽やダンスは、競争社会ではない共生の社会を作っていくにあたり、とっても大切な活動だと思います。</p> <p>【まとめ】</p> <p>・障害者と健常者が一体となり、理解を深め、感動し合い、お互いの絆を作っていければとの思いで企画をした結果、さらに障害者と健常者の架け橋になったものと自負している。</p> <p>・各団体の日常の仕事や生活の様子等のプロフィールを各団体出場前に司会者より紹介したことや会場入り口に掲示板を設置し各団体の紹介として、作業所での利用者さんの写真等を展示したことにより、一般来場者に障害者への認識・理解を深められたと思う。</p> <p>・一般市民に周知するため、各市民センターをはじめ公共施設にチラシ・ポスター配布を行った故、入場券購入の問い合わせが多く、準備していた入場券を再発行したくらいであった。</p> <p>・市長よりの祝電や社会福祉協議会からの祝辞を頂き、さらに市からの助成金を頂いてのこのイベントに、出演した障害者にとっては、自分たちは、認められた、との誇りを持つものであり、今後の人生全てに張り合いや希望をもって歩めるものと思う。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 入場料・プログラム広告協賛金が予定より多くなったことで、出場者の控室を多く借りることが出来た。
	その他、評価すべき点等	<p>・昨年より出場団体が多く、内容も充実していた。</p> <p>・出場団体へのアンコールの要望があり、会場が一体感に包まれた。</p> <p>・聴覚障害者のために手話通訳を依頼し、聴覚障害者の方も楽しめた。</p> <p>・開演内容をDVDにして、出場団体に贈呈した。</p> <p>・今後期待されるヴァイオリニスト式町氏を招待出来、最高のものとなった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>・マルベリー東京パイロットクラブの基幹事業として、継続して取り組み、八王子市の恒例行事としての地位を確立すべく、市民の皆さまに広く周知活動を展開していきたい。</p> <p>・今後は、障害者の潜在能力を引き出すための本格的アーティスト育成の場を提供したい。</p> <p>・特別ゲストについては、従来通り障害を持ちながらも障害者は勿論、健常者に勇気とパワーを与え、社会的に影響を及ぼしているアーティストを招待し、障害者に対する認識を深めて参りたい。</p>
---------	---

平成29年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業		
団体名	「津久井・橋本・八王子」犬猫の会		
事業費	2,052,412 円	補助金額	1,000,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>無責任な飼い主に遺棄された犬猫の殺処分をゼロにすることを目的とします。</p> <p>また、飼育し続けることができなくなってしまった方からの相談に乗り、一時預かりなど、サポートをしながら新たな飼い主探しのお手伝いを行うとともに、地域の方と連携をして野良猫の保護・譲渡活動を積極的に行い、野良猫の数を減らしていきます。</p> <p>さらに、ペットショップで扱われている犬猫の実態についての啓発活動を行い、ドイツやスウェーデンのように犬や猫への扱い方を人にも犬や猫にも優しい形に変えていくことを周知していきます。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護事業：市民からの相談により犬猫を保護し新たな飼い主が見つかるまで適切な医療や飼養を行う また、保健所からの犬の預かりを再開 ・譲渡事業：新たな飼い主につなげるための譲渡会の定期開催（南大沢、高尾霊園） ・啓発活動事業：ペットショップで扱われる犬や猫の実態を知ってもらうための啓発活動を行う

事業の活動実績	<p>猫；保護数 77 匹、譲渡数 48 匹 犬；保護数 3 匹、譲渡数 1 匹</p> <p>南大沢里親会場 26 回開催 2017/ 4月16、30日/ 5月7、21日/ 6月7、18日 7月9、19日/ 8月6、20日/ 9月10、17日/ 10月8、22日/ 11月5、19日 12月3、10、17日 2018/ 1月7、21日/ 2月4、18日/ 3月4、11、24日</p> <p>高尾霊園里親会 14 回開催 2017/ 4月22日 / 5月27日/ 6月24日/ 7月22日 8月26日/ 9月23、24/ 10月28日/ 11月25日/ 12月23日 2018/ 1月27日/ 2月24日/ 3月17、18日</p>
---------	---

・南大沢(月2回)



・高尾霊園(月1回)



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>全体的にはほぼ予定通りの成果があげられました。</p> <p>譲渡数が保護数に、追いついていませんが成猫の譲渡には時間がかかるため継続して里親探しはしております。</p> <p>啓蒙事業が保護活動に時間をとられて、資料作り等が進みませんでした。保健所から配布されました、環境省の出しているパンフレットを里親会場で配ることができました。</p> <p>八王子市の犬の殺処分はほぼゼロ（現在の殺処分数には自然死も含まれるため）、猫の殺処分数も年々減少しております。</p> <p>行政、他団体とも情報交換、連携等を取り、殺処分ゼロを目指します。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 主に医療費に資金を使ったため。
	その他、評価すべき点等	ボランティアの方々の今までの活動、啓蒙により八王子市の犬猫殺処分ゼロの道筋が見えてきました。継続は大きな力だと感じます。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>継続した事業を展開するため、賛助会員を増やして会費の増収、グッズ、保護冊子販売に力をいれていきます。</p> <p>八王子市は犬猫の保護施設を持っていません。全てボランティアの各家で一時保護をし、里親探しを各ボランティアが引き受けております。今後は行政の基本的には殺処分ゼロの保護施設の建設を要望します。それにはボランティアの保護・譲渡の知識が必須です。行政とボランティアが協力して殺処分ゼロの施設を運営していれば良いと考えております。</p>
---------	---

平成 29 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	HACHIDORI~HACHIOJI ROCK DREAM		
団体名	HACHIDORI フェスティバル実行委員会		
事業費	2,438,229円	補助金額	800,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>現在、八王子における、他市にはない特出すべき特徴は、全国を対象に活躍し大型ロックフェスティバルに参加する有名ロックバンドを数多く輩出している事象である。また、全国で活躍するバンドの多くは、バンド結成地である八王子に愛着を持ち、八王子のライブハウスをホームとしている。この事象の理由として、八王子の特徴である学園都市「八王子」約11万人が集まる学園都市パワーから音楽を志す若者が多いことが考えられる。この全国内においても貴重な風土を活用し、この資源活用を広域に広め、八王子がロックバンドを目指す若者たちの聖地となり、新たな来訪者が八王子を訪れること、また、移住することなどにより、多大な経済効果を生み出す可能性の機会となることを目的にしている。</p>
	<p>内容</p> <p>市内ライブハウスとその周辺施設を複数利用し、公演の同時開催と、周辺飲食店の協賛でクーポン冊子を配布することにより八王子のまちを回遊させるサーキット形式のロックフェスティバルを開催する。</p>

事業の活動実績	<p>【HACHIDORI~HACHIOJI ROCK DREAM】</p> <p>日時：平成 30 年 3 月 4 日（日）</p> <p>会場：八王子 Match Vox ほか 16 会場</p> <p>出演者：バンド 125 組・アイドル 22 組</p> <p>参加者：2,400 名</p>
	<p>市内 17 会場にて 125 組のライブ公演が行われるロックサーキットイベント。参加者に配布した冊子で飲食店舗の割引サービス等を行い、まちおこしを目的とする。小田原市が同様の音楽まちおこしイベントを実施しているので、連携を行い、姉妹都市の観光パンフレット配布も行った。</p> <p>例年、八王子駅から西側の会場が多く、参加者の周遊範囲が決まっていたが、京王八王子駅周辺の会場を増やし、広範囲での周遊があった。</p>



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>参加者は街中のライブハウスをめぐりさまざまな音楽を体験する。また、バンド公演は 17 時過ぎの時間帯には終了、ライブ参加のあとは、ロック音楽を好みとする方だけでなく、幅広い世代の方々の参加と観覧を図り、市内外を問わないまちへの集客とまちの地域ブランドイメージを多くの方々に植え付けた。</p> <p>参加者・出演者含む 2,400 名</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった <input checked="" type="radio"/> 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>年度末の3月に実施するものであり、収入・支出の動きが平成 29 年度内に完了しないことから、支出する事業費は減額し、収入する前売券のチケット代は翌年度に振込予定となり、団体が立て替えることになったことから収入の内訳が変更となった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>京王八王子駅周辺の会場を増やし、例年よりも広域での参加者が街中をめぐり、横山町公園での無料ステージでも中心市街地活性化・市民へのアピールも出来た。</p> <p>音響や人だかりでの苦情等が課題であったが、商店街の協力・交通整理要員の配置により、トラブルもなく無事に終了することができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>中心市街地の活性化を課題と考え、イベントを実施しているが、補助終了後の自立化した予算で、継続的に実施することで、イベントの認知度とともにまちや店の認知度を高め、八王子の魅力を発信し続けることを目的として、事業展開を図る。</p> <p>また、継続イベントとしてマンネリ化しないよう、事業展開していきたい。</p>
---------	---

平成 29 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」		
団体名	一般社団法人トレインズアカデミー		
事業費	2,100,235 円	補助金額	700,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>近年、子どもたちの身体的発達において、運動が得意な子どもと不得意な子どもとで、二極化しているという課題があります。</p> <p>そこで、当団体は、地域のプロスポーツチームとして、学校や保育園を訪問して子供たちに運動への興味・関心を向上させる機会を与えるとともに、地元のチームを応援することで郷土愛を育み、また、アスリートと接することで2020年の東京オリンピックへの機運の醸成に貢献することを目的に本事業を企画しました。</p>
	<p>内容</p> <p>1.市内小・中学校におけるプロスポーツ選手による特別授業訪問</p> <p>2.市内保育園への定期訪問によるスポーツ推進活動</p> <p>3.市内イベントへの参加、協力</p> <p>4.「トレインズカップ」、「キッズフェスティバル」、「地域バスケットボール教室」の開催</p>

事業の活動実績	<p>○保育園訪問「フレンドリースマイル」</p> <p>平成 29 年度活動実績 82 回実施 (活動累計 183 回実施)</p> <p>○小・中学校訪問「ドリームスクール」</p> <p>平成 29 年度活動実績 34 校実施 (活動累計 86 校)、対象児童数 2372 名 (累計 6808 名)</p> <p>○トレインズカップ</p> <p>2017/7/23～2017/8/6 の3日間で中学校男子バスケットボール部を対象に大会を実施 市内中学校 20 校が参加し、対象生徒数約 450 名</p> <p>○バスケキッズフェスティバル</p> <p>2017/7/17 実施、立川市柴崎市民体育館にて子ども達を対象としたバスケットボールを題材としたレクリエーションイベントの実施。</p> <p>○地域バスケットボール教室</p> <p>地域のバスケットボールクラブと連携し、周辺地域の子ども達を対象に実施 平成 29 年度活動実績 13 回実施 参加者約 720 名</p>
---------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>○活動をとおして、バスケットボールの普及に貢献した。指導者や用具が少ない学校では、訪問して活動の場を作る事で子ども達にとって貴重な体験を与える事が出来た。</p> <p>○活動後も継続してバスケットボールに関心を持ち、バスケットボールの試合へ実際に足を運ぶ等、活動外の部分に対してもアプローチをすることができた。 2020年の東京オリンピックに向け、「観るスポーツ」への興味・関心に役立ったと感じる。</p> <p>○子ども達への指導の他、専門分野の指導方法などを現場の教員や指導者へ伝達する機会ともなり、教育現場の支援に繋がった。また、教員向けの講習の機会を得るなどのきっかけとなった。</p> <p>○活動の後日に児童からお手紙をもらい、そこには運動が苦手な子たちも楽しく活動ができたなどの感想をもらった。</p> <p>○地元のプロスポーツチームを知る機会を与え、興味・関心を引きつけるきっかけを作り、地域への理解を深める事に貢献した。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ (2) 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) イベントの開催場所の変更などにより、多少の予算の使用における変更が生じた。又、昨年度頂いた協賛が今年度なくなってしまい繰入金を増額した。消耗品については内容が一部変更となった。
	その他、評価すべき点等	主に計画とおりに活動をし、終える事が出来た。 徐々に、市内で活動が認知され、学校や地域から評価を受けるようになった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>2018年度よりは、別に行っているスクール事業の収入をもとに今回の対象事業を独立して行っていく目途がたった。今後より地域と密接な活動を続け、地域社会へ貢献していく。</p>
---------	---

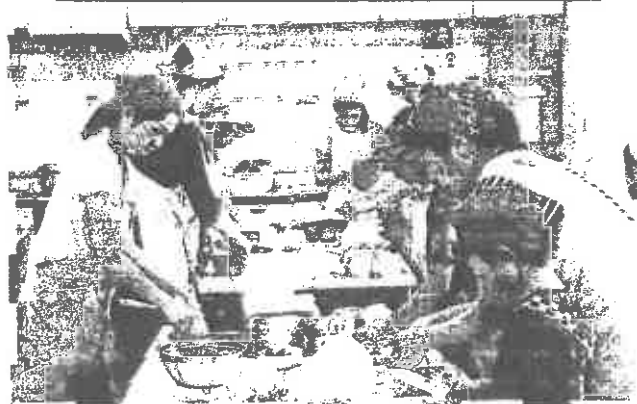
平成 29 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る!		
団体名	特定非営利活動法人すまいるカフェ		
事業費	1,419,917円	補助金額	315,000円

事業の目的・内容	<p>目的 農家の高齢化や後継者不足から発生する環境破壊や防犯への悪影響の改善。販売ルートを持たないプチ農家と一般市民との媒体となり、人・物・心をつなぐコミュニティの再生・活性化で生産・加工・販売の統合化、地産地消、経済の活性化、環境保全を目指す。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験講習と料理教室の開催による障害者や学童の学びの場づくり&国際交流 ・農に関心の高いシニアや若人・障害者の活躍の場の提供及び活用 ・朝市・マルシェを通して生産者と一般市民のコミュニケーションを図る ・循環型農法への取り組み ・獣害対策

事業の活動実績	<p>毎月第4日曜日朝市・うたごえサロン開催 多摩ニュータウン鹿島地区 毎月第3金曜日マルシェ開催 横川町住宅「わいわいサロン」 毎週火・金 10:00~17:00 畑耕作業 4/29 椎茸菌打ち講習会 恩方市民センター10名参加 5/20 高尾山口マルシェ 5/27 Npo フェスティバル出店 7/2 「かたつむり」ジャガイモ堀 西寺方町すまいる農園・恩方市民センター20人参加 8/11,12,13 高尾山山の日フェア出店 8/26 大横町祭り出店 8/27 「手作りナンとへび瓜カレー教室」加住市民センター10組 20人参加 (インドネシアからの留学生参加) 9/16,17,18 八王子フードフェスティバル 9/23,24 八王子市制 100周年緑化フェア出店 11/9,20 いちよう祭り出店 12/10 北原フェス出店 3/10 お父さんお帰りなさいパーティ出展</p>
---------	--

手作りナンとへび瓜カレー講習会



「かたつむり」ジャガイモ堀



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>◇自立を目指して安定した収穫量の確保のと販路の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫量の確保は、長年の除草剤によるダメージから畑の力を再生するために、馬糞・鶏糞竹チップに加え、鶏糞やコーヒチャフを家庭で使い切った廃油を使って燻炭にするなど独自の方法で堆肥を手作り、自然の力を利用して土壌のパワーアップに取り組んだが、いまだ安定した収穫量については、完全とは言えない途上の状態である。 ・販路の拡大は7月からイーヤス高尾「わくわく広場」への野菜出荷、9月から協同購入社「生活舎」へ加工品出荷開始。イベント販売でも、大横町祭り、八王子市制100周年緑化フェア、北原フェス、など新たな販路が拡大出来た。 <p>◇発達障害者団体「かたつむり」のジャガイモ堀体験が大変好評で、毎年開催希望となり、障害者の就農へのきっかけが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人ルーツ・ユアセルフと協働で開催した事で、就農が障害者のリハビリーに効果があることを再認識し、今後の活動への確信がつかめた。 <p>◇人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自の方法での堆肥づくりを通して、エコを目指す若い農業希望者を呼び込み会員増強につながった。 <p>*8/19付け「多摩もしもし新聞」に活動が掲載され、会員の少ない多摩ニュータウン方面へのアピールが出来、鹿島朝市の集客への可能性が広がった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 <input type="radio"/> 概ねできた 3 <input type="radio"/> あまりできなかった 4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 <input type="radio"/> できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 <input type="radio"/> あまりできなかった 4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 <input type="radio"/> ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 <input type="radio"/> 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	八王子を象徴する桑のみを使ってジャムを製造。果実の中の軸が貫通していて加工が非常に難しかったので、埼玉の桑のみジャム農家を見学し、初めてジャム加工に取り組んだ。へび瓜と合わせて、何とか八王子を代表する商品にしたい。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	休憩所、雨水利用の手洗い、散水設備などを整備して、障害者と定年退職後の就農希望者が交流できるスペースを作って、自然と体に優しい循環型農業の情報発信をしていきたい。
---------	---

4 事業成果報告

<2> 収支決算書

市民企画事業収支決算書

事業の名称		もとはち東ふれあい食堂	
団体名		もとはち東ふれあい食堂プロジェクト	
項目	内容・内訳		決算額(円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2	事業による収入	参加者数 384人×@300円	115,200
3	寄付金	元代表より 40,000円、西蓮寺 10,000円	50,000
4			
5			
6			
合 計			265,200
支出の部			
1	消耗品費	食堂開催時に使用する物(食材含む)	150,439
2	印刷製本費	チラシ・ポスター印刷用紙	13,473
3	設備品費	学校での食堂開催に必要となる備品	33,037
4	行事保険費(振込手数料 含)	社会福祉協議会・行事保険	34,430
5			
6			
7			
8			
9			
10			
合 計			231,379

市民企画事業収支決算書

事業の名称		精神疾患当事者が畑で元気になるプロジェクト	
団体名		特定非営利活動法人ルーツ・ユアセルフ	
項目	内容・内訳		決算額(円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		88,000
2	団体運営費からの繰入金		349
3			
4			
5			
6			
合 計			88,349
支出の部			
1	消耗品費	農機具代	18,472
2	印刷製本費	交流会の資料作成代(体験談等の冊子作製)	6,323
3	仕入高	種苗代、肥料代	41,834
4	会場借上料・使用料	交流会の会場使用料	2,600
5	交通費	交流会や高尾山イベントでのスタッフ交通費	17,020
6	燃料代	農機具の燃料代	2,100
7			
8			
9			
10			
合 計			88,349

市民企画事業収支決算書

事業の名称	のうちのマルシェ2017	
団体名	のうちのマルシェ実行委員会	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金	100,000
2	協賛金 3,000円×5件=15,000円、4,000円×3件=12,000円、5,000円×1件=5,000円、10,000円×1件=10,000円	42,000
3	出店料 1,000円×3件=3,000円、2,000円×6件=12,000円、2,500円×4件=10,000円、3,000円×12件=36,000円、3,500円×12件=42,000円	103,000
4	ノベルティ売上 オリジナルエコバッグ 1個	1,600
5		
合 計		246,600
支出の部		
1	消耗品費 出店者用名札15セット 5,260円、会場設営備品(結束バンド、ロープ) 1,537円 等	8,218
2	印刷費 ポスター印刷費(110部) 7,860円、まち歩きマップ印刷費(6,500部) 35,070円、ポストカード印刷費(5,000部) 7,920円、会報印刷費(2,500部) 12,570円 等	64,080
3	謝礼 ボランティア朝食費	3,760
4	交通費	0
5	通信費 出店者向け案内郵送費(37通) 30,150円、会報郵送費(48通) 7,100円	37,250
6	イベント保険料 賠償責任保険料 5,430円、行事参加者傷害保険料 2,900円	8,330
7	フラッグ製作費 フラッグ 30枚、掲示用ポール 15本	103,680
8	ノベルティ製作費 オリジナルエコバッグ 20個	4,956
9	手数料・使用料 郵便局広告掲示料 12,960円、道路使用許可届出手数料 2,700円、代引手数料 300円	15,960
合 計		246,234

市民企画事業収支決算書

事業の名称		難病を元気にする！！（難病カフェ）	
団体名		特定非営利活動法人難病ネットワーク	
項目	内容・内訳		決算額（円）
収入の部			
1	市民企画事業補助金		100,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	参加費 500円×41人(のべ)	20,500
4	団体運営費からの繰入金		
5			
合 計			120,500
支出の部			
1	消耗品費	プリンターインク、封筒、ラベルタック	5,602
2	印刷製本費	チラシ・ポスター印刷費、コピー代	17,690
3	謝礼・報酬	講師 3名分、車ボランティア	46,660
4	通信費	切手代	9,620
5	会場等使用料	八王子市生涯学習センター・プレアデス会場使用料、 駐車場代	32,200
6	茶菓子代	お茶、菓子	4,597
7			
8			
合 計			116,369

市民企画事業収支決算書

事業の名称	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業	
団体名	特定非営利活動法人フードバンク八王子えがお	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金	100,000
2	団体運営費からの繰入金	54,531
3		
4		
5		
6		
合 計		154,531
支出の部		
1	消耗品費 A4印刷用紙(658×2)、プリンターインク(6本4,190円)プリンターインク(2本1,586円)、(2本1,900円)	8,992
2	印刷製本費 えがお通信(5,324円、7,538円、5,540円、5,324円、4,050円)リーフレット作成費(67,000円)	94,776
3	謝礼・報酬 学習会講師謝礼	20,000
4	会場等使用料 市民センター使用料(フードドライブ1,050円、定例会600円)	1,650
5	駐車場使用料 つばめ塾生徒へのパン配達時駐車場費(200円×8)	1,600
6	通信費 広報紙郵送料(4,352円、4,100円、1,640円、7,960円、8,200円)	26,252
7	宅配便費 宅配便	1,261
8		
9		
10		
合 計		154,531

市民企画事業収支決算書

事業の名称	マルベリーハートフルフェスタ	
団体名	マルベリー東京パイロットクラブ	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	100,000
2	その他助成金収入	
3	事業による収入 広告費(プログラム掲載)・チケット代	218,000
4		
5		
6		
合 計		318,000
支出の部		
1	消耗品費 インク代・受付用品・封筒・チケット用紙他	8,156
2	印刷製本費 チラシ印刷代・プログラム印刷代・コピー代	7,150
3	謝礼・報酬 出演謝礼・記念品(缶バッジ・DVD)・チケットデザイン料・出演者駐車場代補助	155,100
4	会場借上料・使用料 クリエイトイベントホール・展示室・和室2・レクリエーション室・スタジオ・備品使用料	87,850
5		
6		
7		
8		
9		
10		
		258,256

市民企画事業収支決算書

事業の名称	八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業	
団体名	「津久井・橋本・八王子」犬猫の会	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金	1,000,000
2	事業による収入 譲渡料	515,000
3	団体運営費からの繰入金	202,388
4	募金	305,024
5	会費収入	30,000
6		
合 計		2,052,412
支出の部		
1	消耗品費 フード代、インク代	427,613
2	印刷製本費 チラシ作成	3,348
3	謝礼・報酬 ホームページ保守管理	25,920
4	会場等使用料 譲渡会会場使用料(南大沢)	98,928
5	ワクチン・駆虫代	352,948
6	医療費・検査代	981,369
7	備品等 折り畳みケージ、プリンター	162,286
8		
9		
10		
		2,052,412

市民企画事業収支決算書

事業の名称		HACHIDORI~HACHIOJI ROCK DREAM	
団体名		HACHIDORIフェスティバル実行委員会	
項目	内容・内訳		決算額(円)
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		800,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	チケット販売収入	589,000
4	団体運営費からの繰入金		1,049,229
5			
6			
合 計			2,438,229
支出の部			
1	消耗品費	腕章、テープ、プラダン、A4コピー用紙、電池、ドラム パッド代、Tシャツ製作	134,084
2	印刷製本費	ポスター・パンフレット・リストバンド	133,568
3	謝礼・報酬	出演者報酬、ボランティア弁当代	760,065
4	会場等使用料	公演会場(ライブハウス、飲食店等)使用料	1,137,132
5	保険料	自賠責・傷害保険	10,150
6	通信費	郵送料	120
7	会場設営費	横断幕・のぼり作成、机レンタル、アイドルゾーン製作、 店内ディスプレイ製作	263,110
8			
9			
10			
合 計			2,438,229

市民企画事業収支決算書

事業の名称	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」	
団体名	一般社団法人トレインズアカデミー	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	700,000
2	団体運営費からの繰入金 (バスケットボールスクール、チアダンススクール)	1,400,235
3		
4		
5		
6		
合 計		2,100,235
支出の部		
1	消耗品 参加者配付用クリアファイル @90円×3,000個×1.08	291,600
2	謝礼・報酬 訪問活動への謝礼 @2,000円×延328名 @4,000円×延170名	1,336,000
3	会場等使用料 ・第二回トレインズカップ ・バスケキッズフェスティバル	215,000
4	イベント関連経費 ・大会記念タオル製作費 @500×350枚×1.08 + 送料 ・トロフィー代、人件費・昼食代	257,635
5		
6		
7		
8		
合 計		2,100,235

市民企画事業収支決算書

事業の名称	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！	
団体名	特定非営利活動法人 すまいるカフェ	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	315,000
2	その他助成金収入 真如助成金	160,000
3	事業による収入 朝市・マルシェ 376,015、イベント 253,140、委託販売 365,900、講習会40,800、サロン 31,000	1,066,855
4		
5		
6		
合 計		1,541,855
支出の部		
1	消耗品費 ①農業資材93,841 ②耕作用消耗品82,900 ③加工品関 連38,631 ④加工品材料80,062 ⑤イベント・講習会 47,195	342,629
2	印刷製本費 インク・コピー用紙	15,188
3	謝礼・報酬 謝礼3,000×9 報酬415,140	442,140
4	会場借上料・使用料 元八王子市民センター7,500、わいわいサロン4,800、加 住市民センター1,050、リレーションズ(加工作業所) 55,414	68,764
5	交通費 畑作業等スタッフ交通費	66,848
6	通信費 郵送料	793
7	仕入高(野菜) 4月19,080/5月21,156/6月24,658/7月69,768/8月 50,378/9月42,730/10月94,107/11月47,027/12月 64,950/1月4,640/2月23,081/3月21,980	483,555
8		
9		
10		
合 計		1,419,917

5 成果報告会 アンケート結果

アンケートの概要

実施日	平成30年6月23日（土）成果報告会において実施
対象	成果報告会への来場者
内容	各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想
回答数	12名

(1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	もとはち東ふれあい食堂	
団体名	もとはち東ふれあい食堂プロジェクト	掲載ページ P5,26

- ・ 地域の人たちのつながりを作ることは大切ですね。災害時など、このつながりがとっても重要になってきますね。(50代)
- ・ 調理スペース等、限られた条件の中でメニューを工夫して対応されているのだなと思いました。(50代)
- ・ 予算や会場の関係などがあり、難しいと思いますが、本当に貧困や孤食を支援するための第一歩だと思います。回数を増やしていければ良いですね。(50代)
- ・ フードバンクもそうですが、食に困っている人の多さを実感しました。(20代)

事業名	精神疾患当事者が畑で元気になるプロジェクト	
団体名	特定非営利活動法人ルーツ・ユアセルフ	掲載ページ P7,27

- ・ 農業を通して精神の安定をはかるのは、精神疾患の方だけでなく、一般の人々にも良いので、包括的に色々な方が参加できると良いですね。(50代)
- ・ ご自分の経験を生かすことで、対象者のニーズに応えることが出来ると思いました。自然は、心を癒す効果が高いのでこの活動が広がると良いと思います。(50代)
- ・ 農福連携事業につなげていける方策を考えたい。(利用されていない農地の有効活用)(50代)
- ・ 今後（精神）障害のあるなしに関わらず、交流が広がっていけるよう活動を広げていってください。(50代)
- ・ 地道な活動、頑張ってください。畑で採れた野菜等、フードバンクでの食に困る方々に食していただくのも相互の交流にもなるし、収入増に多少つながるかも知れませんね。(70代)

事業名	のうちのマルシェ 2017	
団体名	のうちのマルシェ実行委員会	掲載ページ P9,28

- ・ 地域の活性には良いですね。(50代)
- ・ 楽しそうなイベントで、地域の活性化に尽くされていると思いました。地元の人々で作るイベントが、長く続くと良いなと思います。出店者をプロに限定しているのは良いと思いました。(50代)
- ・ 事業の目的をもう少し詰めて考えてもよいのではないかと思いました。(50代)

- 今年は諸事情により、マルシェが開催できなかったようですが、是非続けてほしい。(50代)
- 宣伝やアイデアがおしゃれで素敵です。アイデアって大事ですね。堀之内が元気になって素晴らしい。(50代)
- 助成金を現在の活動にうまく活用しているなどすごく感心しました。参考にさせていただきます。協力の仕方がとても良いと思います。(20代)
- 新しい街での住民の横のつながりづくり、今後も頑張ってください。フードバンクで食に困る方々に、フードドライブといわれる食品寄贈活動等でご協力いただけると、新たな住民連帯をつくることにもつながるかなと思いました。数は少ないですが、別所・南大沢にも月1回お届けに伺っています。今後も頑張ってください。(70代)

事業名	難病を元気にする！！(難病カフェ)		
団体名	特定非営利活動法人難病ネットワーク	掲載ページ	P11,29

- 難病といっても様々な症状、ケースがあると思います。一つにまとめて活動するのは、大変な苦労があることと思います。少しポイントがわかりづらかったです。(50代)
- カフェの雰囲気をもう少し可視化できると良い。(50代)
- 人とのつながり、コミュニケーション能力の向上というところに共感しました。(50代)
- 普段の生活ではなかなか見られない活動ですが、必要な事業だと思いました。当事者活動の大切さを感じました。(20代)
- 難病当事者、家族にとってとても励ましになる活動、頑張ってください。わかりやすかったです。(70代)

事業名	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業		
団体名	特定非営利活動法人フードバンク八王子えがお	掲載ページ	P13,30

- 企業からのフードバンクではなく、一般から集めるのは着眼点が面白いです。サステナブルになるための工夫を考えないといけませんね。(50代)
- 活動をもう少し具体化してもらえると良い。(50代)
- いつも大変お世話になっております。(50代)
- 個人的な潜在貧困の人たちがいっぱいいると思います。そうした人たちに周知できれば良いと思います。(50代)
- 八王子の政策と合っていて、市民活動として素晴らしいと思いました。(20代)

事業名	マルベリーハートフルフェスタ		
団体名	マルベリー東京パイロットクラブ	掲載ページ	P15,31

- 参加団体が多いが(人数も多い)よくまとまっている様子が伺える。(50代)
- 参加団体が増えていることに、広がりを感じました。(50代)
- イベントの開催方法として、非常に参考になりました。しっかり参加者として参加してみたいです。(20代)

事業名	八王子市 犬猫殺処分ゼロミッション 保護活動事業		
団体名	「津久井・橋本・八王子」犬猫の会	掲載ページ	P17,32

- ペットショップ等で売れ残った犬猫は、どうなってしまうのでしょうか。(50代)

- ・ 助成金の額が大きいので、事業費内容を少し説明してほしい。(50代)
- ・ 手術代や食事代など、大変だと思います。成果が上がっていると思います。(50代)
- ・ 自分も保護猫を飼っているのですが、他人事とは思えなかった。本当にゼロになることを応援しています。(20代)

事業名	HACHIDORI ～HACHIOJI ROCK DREAM		
団体名	HACHIDORI フェスティバル実行委員会	掲載ページ	P19,33

- ・ 若者が集まってさわる場、ROCK だけでなく、色々なジャンルで複数回開催できると良いですね。(50代)
- ・ 町おこしイベントとしては、面白いです。八王子出身の有名なアーティストも多いので、そんな方々の協力も得られると良いですね。若い人が生き生きとしている街は、将来性があると思います。(50代)
- ・ 中心市街地活性化に貢献している事業だと思う。是非継続を。(50代)
- ・ 町おこしの一役として、ロックは(学園都市)最高だと思います。私は50代なので入っていくには抵抗があるかと思いますが・・・(50代)
- ・ 各団体の中で、1番公益に寄与していると思いました。(20代)

事業名	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」		
団体名	一般社団法人トレインズアカデミー	掲載ページ	P21,34

- ・ 事業費は、何に使われているのかを知りたかった。(50代)
- ・ 直接プロの方から指導を受けられることに、子ども達の興味が増すことは良いことだと思います。継続を。
- ・ プロチームとの連携での目的を明確にした継続的な活動は、とても良いモデルだと思う。補助金以外の資金源が、どのようになっているのか報告書の中でわかると良い。(50代)
- ・ 八王子のプロスポーツチームの人たちが、市民のために自ら活動していくことの意義があると思います。頑張ってください。(50代)
- ・ 自分が、小学生の時にあって欲しかった活動だと感じました。(20代)

事業名	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！		
団体名	特定非営利活動法人すまいるカフェ	掲載ページ	P23,35

- ・ 組織的な運営の流れが出来上がっており、しっかりとした活動だと印象を受けました。土に触れることは、素晴らしい活動だと思います。それをコミュニティの資材として活動されており、これからの広がりを感じる取組みだと思いました。(50代)
- ・ 無農薬を通じて興味を持っている人が多く、イーアス高尾などでは、評判をよんでいるように思いました。友人も夕方行くのが楽しみと言っていました。採れたての野菜が、夕方店に並ぶのを楽しみにしている者より。
- ・ 【トレインズアカデミー】もそうだが、このような『つなぐ』活動は、今後とても重要になると思う。(50代)
- ・ 農業のつながりが、1年2年3年4年5年の蓄積って大事ですね。若い人の担い手が増えて良かったと思います。(50代)
- ・ 昨年度からとてもお世話になっており、素晴らしい活動だと思います。(20代)

(2) 市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

【公益的な市民活動に対する市からの支援についてどのような支援があると良いと思いますか】

(複数回答可の設問 最も必要だと思われるもの1つに◎をつけてください)

1.	補助金による支援	◎ → 4名	○ → 3名	計 7名
2.	活動の場の提供	◎ → 1名	○ → 5名	計 6名
3.	施設使用料等の減免措置	◎ → 0名	○ → 4名	計 4名
4.	活動の情報発信面での支援	◎ → 1名	○ → 6名	計 7名
5.	団体間の交流の場・機会の提供	◎ → 1名	○ → 2名	計 3名
6.	機材や資材の提供	◎ → 0名	○ → 0名	計 0名
7.	講師・スタッフ等人材の派遣	◎ → 0名	○ → 1名	計 1名
8.	人材育成	◎ → 0名	○ → 0名	計 0名
9.	団体・人材の斡旋	◎ → 0名	○ → 1名	計 1名
10.	その他			

- ・ 企業の社会貢献と市民団体をつなぐ、産・学・公と市民団体との連携のしくみづくり。(50代)
- ・ 里親に貰ってもらえない場合の、犬猫の保護施設ができればと願っています。(60代)
- ・ 全国でも難病に対するエキスパート(研究者)が少ない。研究されていないのが現状です。就労A型、B型以外の就労支援が必要と考えています。(50代)

【補助金制度についてのご意見】

- ・ 市民活動のネックとなっている制度の改革。(50代)
- ・ しっかりとした理念を持った団体を、選ばれていると思いました。(50代)
- ・ 補助額が大きいと事業性も大きくなるが、補助が切れた時の事業、継続性のアピールがどの団体からも無かった。実績を元に企業へのアピールの場も必要と思います。(60代)
- ・ 財源の都合もあるでしょうが、多くの団体が補助金を受けられると市民活動が盛り上がるのではないかと思います。市政を支えるのは、最終的には市民のマンパワーだと思いました。(50代)
- ・ 1年間、助成は勿論のこと丁寧に指導してくださり、本当にありがとうございました。(20代)
- ・ 2年間ありがとうございました。立ち上げの段階での助成、とても力になりました。(70代)

(3) 成果報告会についてのご意見・ご感想

- ・ 10団体の活動すべて、実はつながっていると思います。つながるって大切です。(50代)
- ・ 補助金事業の報告会ですので、資料の中に補助金を具体的にどのように使ったのか、わかるものを入れるべきではないでしょうか。(50代)
- ・ 皆さん公益性の高い素晴らしい活動をされているので、もっと多くの市民の方々に報告会をみていただいたらどうでしょうか?発表団体だけが視聴するのは勿体無いと思いました。「事業補助金成果報告会」なので、事業費を貰って何に役立ったのかを知りたいと思いました。(50代)

6 交付団体連絡先一覧

区分	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援部門	もとはち東ふれあい食堂プロジェクト	野田 里美	野田 里美	八王子市泉町1911-69	090-2942-1621
	特定非営利活動法人 ルーツ・ユアセルフ	北原 直幸	宮崎 雄平	八王子市狭間町1462-5	080-5696-2196
	のうちのマルシェ実行委員会	吉田 恭子	吉田 恭子	八王子市別所2-1-4F CUORE・堀之内内 のうちのマルシェ実行委員会	042-670-2236
	特定非営利活動法人 難病ネットワーク	恒川 信一	恒川 信一	八王子市みなみ野4-25-1-321	042-686-0056
	特定非営利活動法人 フードバンク八王子えがお	佐野 英司	佐野 英司	八王子市狭間町1838	042-664-2074
	マルベリー東京パイロットクラブ	虎見 廣子	虎見 廣子	八王子市元八王子町1-435	080-1046-6286
事業実施部門	「津久井・橋本・八王子」犬猫の会	石躍 昌美	石躍 昌美	八王子市川口町433-5	080-5020-0631
	HACHIDORIフェスティバル 実行委員会	奥 泰正	奥 泰正	八王子市三崎町2-5 鳳来ビル1F	042-627-7787
	一般社団法人 トレインズアカデミー	和田 尚之	千葉 司	八王子市子安町3-6-7 サザンエイトビル1F	042-649-4440
	特定非営利活動法人 すまいるカフェ	高倉 裕香	高倉 裕香	八王子市みつ台2-29-14	042-691-5045

平成29年度交付
市民企画事業補助金
成果報告書



平成30年7月発行

発行 / 八王子市
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>
